

次官

委

騎監發第一六六號

「騎兵旅團ノ大行李及輜重ノ機械化ニ
關スル研究」送付ノ件

昭和四年五月十五日

騎兵監 三好 一

陸軍次官 阿部信行殿

首題ノ件ニ關シ當部ノ意見參考ノ為別冊
ノ通送付ス

9882





騎兵旅團ノ大行李及輜重ノ機械化ニ關スル研究

昭和四年五月
騎兵監部

騎兵旅團ノ大行李及輜重ノ機械化ニ關スル研究

第一 要領

一 騎兵旅團輜重ノ内本部並一中隊ト一小隊(騎兵旅團大行李輜重ノ全積載量ノ約三分一)ヲ自動車編制トナス而シテ該中(小)隊ノ編制ハ彈藥及糧秣ノ何レニモ使用シ得ル如クスルモ通常左ノ如ク積載ス

一中隊 糧秣

一小隊 彈藥

ニ從來各部隊ノ大行李ニ積載セシ衛生材料ニ初療ニ必要ナルモノヲ増加シ之ヲ自動車ニ積載シ且之ニ重傷患者輸送用自動車ヲ加ヘ旅團衛生行李トナス

理由

一、輓近自動車ノ進歩發達著シク今ヤ路外不齊地ヲモ走
 行シ得ルモノ現出セリ故ニ之ヲ騎兵旅團ノ輜重ニ使用ス
 ルハ適ニ旅團ノ進出距離ヲ増大セシムルノミナラス其行
 動ヲ輕快ナラシムル爲極メテ有利ナリトス是騎兵旅團
 ノ大行李輜重ハ行軍其他ノ場合ニ於テモ戰況上通常一
 團トナリ遠ク戰列部隊ノ後方ニ位置シ或ハ軍ノ補給
 點ヨリ著シク離隔シテ位置シアルヲ以テ補充ノタメ戰
 列部隊又ハ軍ノ補給點ニ對シ極メテ迅速ニ行動スルヲ
 必要トスレハナリ然レトモ此等ノ自動車ト雖地形的障
 碍ニ對シテハ未タ動物輜重ニ全然代用シ得ル程度ニ
 非ス故ニ騎兵旅團輜重ノ編制ハ動物及機械ノ混用ヲ可
 トスヘシ

二動物輜重ト自動車輜重トヲ幾何ノ比トナスヘキヤハ
 騎兵旅團ノ軍補給點ヨリ進出スル距離ニ關スルト共
 二彈藥糧秣同時補充ノ場合ヲ考定シアルヲ要スヘシ
 騎兵旅團ハ他方面ニ於ケル敵ノ前進妨害或ハ特別任
 務ノ爲ニスル迂回運動其他追撃等ノタメ軍補給
 點ヨリ著シク離隔スルコト多シ而シテ其一場合タル追
 撃時ヲ基準トシテ編制シアラハ其他ノ場合ニ於テハ概
 ネ支障ナカルヘシ勿論斯ノ如キ場合ニ於テハ軍トシテ
 モ萬難ヲ排シ補給點ノ推進ヲ勉ムヘキモ連日行フ大
 追撃ノ場合ニ遠ク敵ノ背後ニ目標ヲ取レル騎兵ノ行
 動ニハ到底追及シ得サルヘク從テ騎兵トシテハ斯ノ如
 キ場合ニ於テモ任務達成上支障ヲ生セサル如ク編制シア
 二

ルヲ緊要トス而シテ此進出距離（軍補給點トノ離隔距離）ヲ幾多ノ狀況ヲ想定考案セシ結果概ネ二十五里ヲ最大限ト判決シ得

而シテ此ノ如キ追撃的戰況ニ於テハ騎兵ハ糧秣ノ外彈藥ノ補充ヲ必要トス輜重兵一中隊ノミヲ自動車トスルトキハ彈藥糧秣同時輸送ノ爲ニハ自動車ハ二往復（四十里乃至五十里）ヲ要シ要求過度ナリ故ニ旅團ノ自動車輜重ハ糧秣一中隊ノ外彈藥ノ輸送ニ應ジ得ル如ク編制シアルコト必要ナリ然ラハ糧秣及彈藥各一中隊ヲ自動車トセハ可ナルカ如キモ彈藥ハ常時必要ナラサルト共ニ彈藥中隊全部ヲ自動車トスルトキハ兩期等ノタメ地形的障礙ニヨリ動物輜重ノミニ

依ルノ已ムヲ得サル場合ニハ彈藥ヲ携行スル部隊ナ
キニ至ルヘキヲ以テ最小限ノ要求トシテ彈藥一小隊分
ヲ自動車トスルヲ適當トスヘシ

三、衛生器材ヲ自動車編制ノ旅團衛生行李トナスハ從來
ノ苦キ體驗ニヨリ其切要ヲ痛感スルモノニシテ其理
由ニツキ多言ヲ要セサルヘシ

第二 編制

一、自動車ノ性能

一、路外不齊地ヲ行進シ得程度稍々不良ナル道路ニ於
テモ時速概ネ十二料路外不齊地ニ於テモ時速七、八
料ヲ出スコトヲ得坂路砂地並泥濘地ニ於テモ騎
砲ノ通過シ得ル處ハ通過シ得ルヲ要ス

又、全備重量三噸内外ニシテ積載量一噸内外ナルヲ要ス
但技術上自重ヲ尚輕減セシムルコトヲ得レハ有利ナ
ルコト勿論ナリトス

曰下我カ國ニ於テ研究中ノ改造六輪自動貨車ハ相
當ノ能力ヲ有スト雖尚改善ノ餘地アリ而シテ之ヲ使
用セハ其積載量ヲ若干減少スルノ要アリ現在佛國ニ
於テ使用セル *Berliet* 六輪自動車ノ如キモノハ略々要
求ニ適合スヘシ

ニ、編制ノ大要

ハ、輜重隊本部

乗用自動車

自動貨車（行李）

註

一、五噸牽引車ハ自動貨車等
陷没セル際牽引スル為ニ使
用ス

五噸牽引車

二

側車附自動二輪車

二

2. 中隊(糧秣)

二小隊ヨリ成ル

乗用自動車

一

自動貨車

一八

豫備自動貨車

二

修理自動車

一

行李用自動貨車

二

側車附自動二輪車

二

小隊(彈藥)

一

九

一

一

一

一

中隊ハ大行李ト同様直接各部隊ノ宿營地ニ分進シ

四

補給シ得ルコトヲ顧慮シ編制及積載區分ヲ為ス

3. 衛生行李

現戰時編制ニ於テ各部隊ノ大行李ニ有スル隊醫
 扱及擔架ヲ運搬スル外救急部隊ニ要スル衛生員
 若干、衛生材料、毛布及天幕等ヲ携行シ簡單ナ
 ル繃帶所開設ニ支障ナカラシメ外ニ重傷患者輸
 送用特種自動車ヲ有ス

自動車 二

重傷者輸送用自動車 二

以上合計

乗用自動車 三

自動車 三八

重患者輸送用自動車

二

五噸牽引車

二

側車附自動車＝輪車

五

第三 運用

一、雨期以外ノ場合

一、駐留間若ハ騎兵ノ進出距離軍ノ補給點ヨリ概シテ十里以内ニ於テハ大行李及動物輜重ヲ使用ス而シテ自動車輜重ハ騎兵旅團ノ爾後ノ前進ヲ顧慮シ適宜ノ位置ニ待機ス

又、騎兵旅團ノ進出距離十里以上ノ場合ニ於テハ大行李及動物輜重ノ前方ニ通常自動車輜重ヲ使用シ斯ノ

五

如クシテ騎兵旅團ハ補給點ヨリ概ネ二十五里迄進
出レ得（現戰時編制ニ於テハ概ネ十五里）

3、自動車ノ輸送ニシテ餘力ヲ有スルトキハ左ノ用途ニ使
用ス

イ、支援部隊ヲ輸送ス

ロ、配屬部隊ノ糧秣及彈藥ノ輸送ニ任ス

ハ、飲用（飲馬）水不足セル作戰地方ニ於テハ此等水
ノ搬送ニ任ス

ニ、地方糧秣ノ徵集ニ使用ス

4、戰鬪ヲ豫期スル前進ニ於テハ自動車編制彈藥一小隊
及衛生行李ハ先進輜重隊トシテ戰列部隊ノ後方ニ
躍進的ニ續行ス

5. 空車輛ハ戦闘後ニ於テハ傷者等ノ後送ニ使用ス

二、雨期其他作戰地ノ地形自動車ヲ使用シ得サル場合

動物輜重ヲ使用ス此際要スレハ大行李ノ積載品若ハ糧秣中隊ノ馬糧ノ一部ヲ卸下シ之ニ彈藥ヲ積載シ以テ一中隊分ノ彈藥ヲ携行ス

此場合ニ於テハ騎兵旅團ハ補給點ヨリ十里内外進出シ得ルニ過キサルヲ以テ軍トシテ補給點ノ推進ニ勉ムルコト緊要ナリ